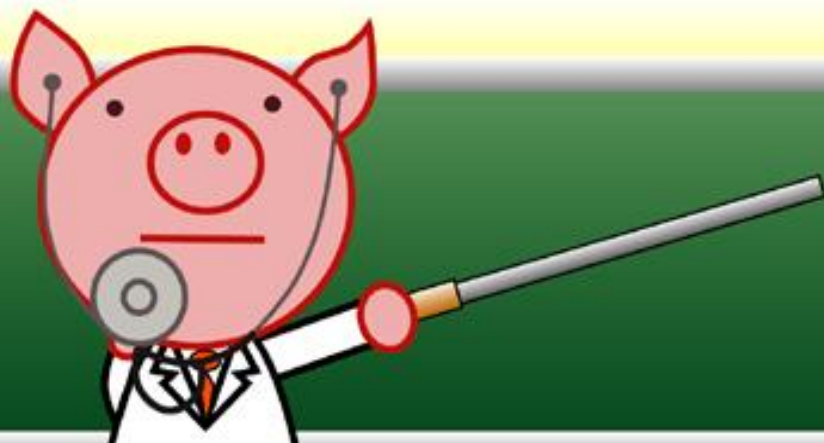


環境省カーボンオフセットモデル事業公開発表会

部会 IV



工口食品健研究会

ユーザー部会(購入する側):
少しでも環境や健康に配慮された食品を選びたい…

企業部会(製造・販売する側):
少しでも環境や健康に配慮した経営と…商品を…

事業に取り組む背景

・カーボンオフセットの認知度向上

- 一般のお客様は、ほとんど知らない・関心がない

⇒ 当会の平成20年度カーボンオフセットモデル事業でも明らか

・カーボンオフセットマーク乱立

- 実施主体企業の独自マーク
- プロバイダーの独自マーク
- 任意グループの独自マーク

⇒一般のお客様には、理解しにくくなっている

・認証マークの使い勝手の検証と課題提起

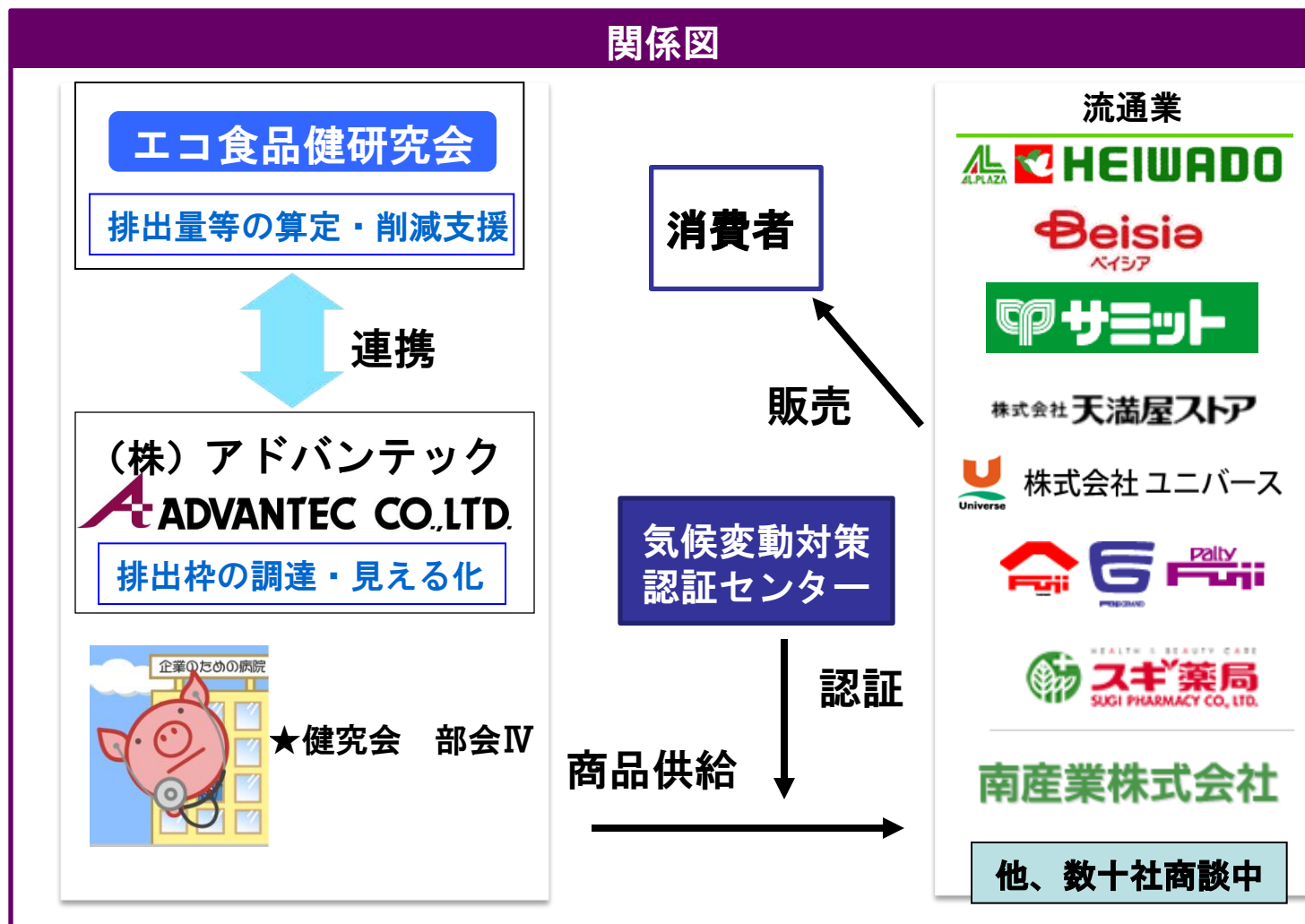
- イニシャルコストが適正か
- ランニングコストが適正か
- 認証申請書記載や取得までのやり取りが妥当か

・取組の信頼性の確保



事業概要と関係図

エコ食品健研究会 部会Ⅳの食品メーカーとともに
カーボンオフセット商品の啓発・啓蒙を実施



排出量の算定

算定範囲（バウンダリ）

各メーカーがそれぞれ下記①または②より算定範囲を決定する

- ①商品購入者の日常生活（家庭等）から排出される排出量
- ②製品製造時における自社工場から排出される排出量



算定の方法

①家庭から排出される排出量の算定方法

算定方法ガイドラインver.1.1、P.7のデシジョンツリーに則り、顧客の生活に伴う排出量を対象にオフセットを代行するものであるため、レベル1以上で算定を行う。

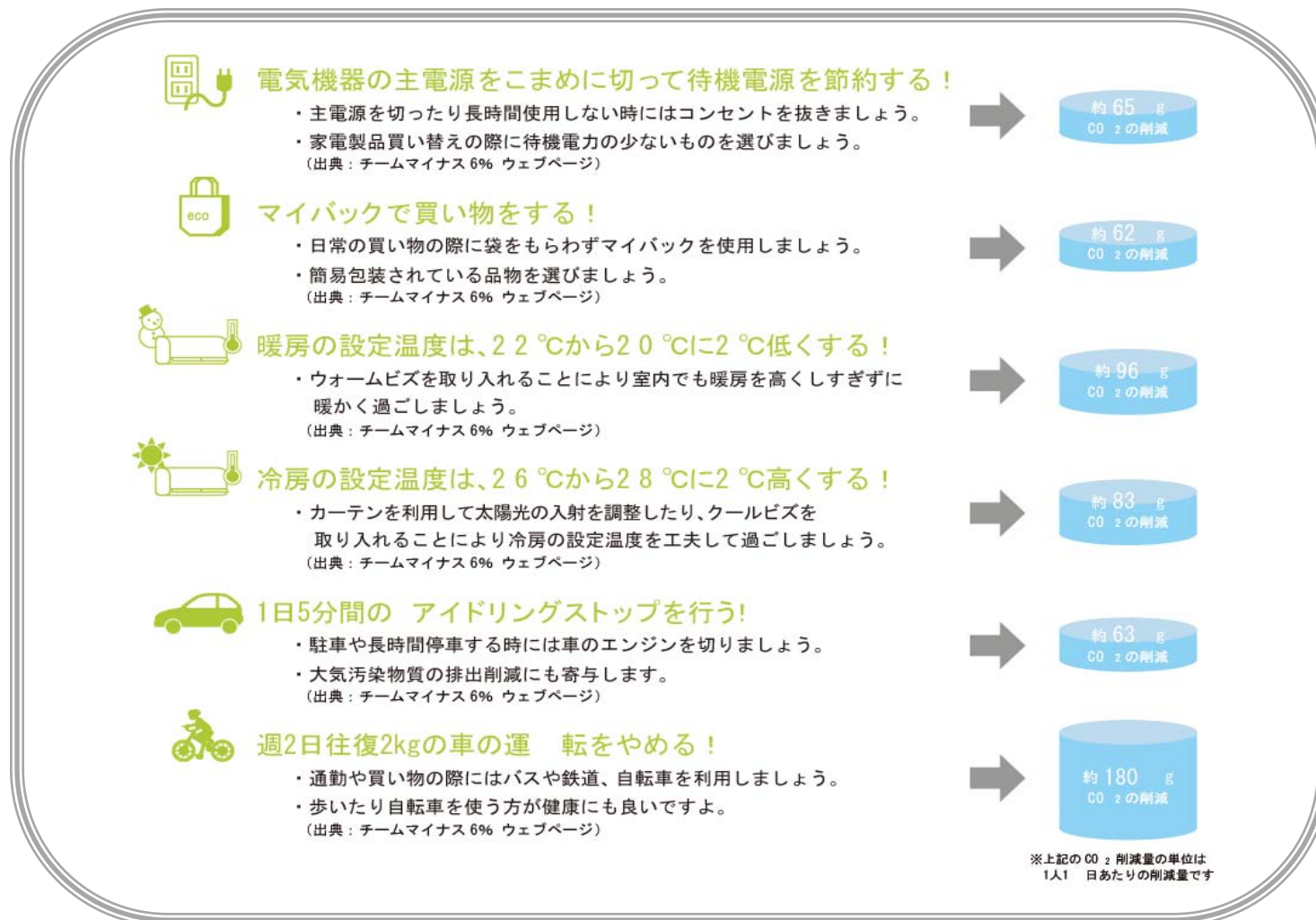
②製造時に排出される排出量の算定方法

PAS2050に基づき、各社製造工程で排出されるCO2量を算定。

削減努力

消費者等に対する排出量の削減努力の促進に関する取組

- ・ 自社およびプロバイダーHPにて削減努力を促すメッセージを呼びかけを行っている。



クレジットの説明

使用クレジット種類

■ CER

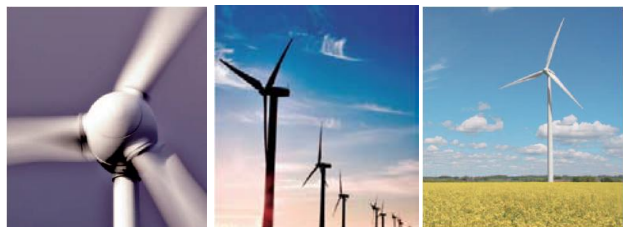
Certified Emission Reductionの略称。
CDMプロジェクトを通じて、排出削減した部分(クレジット)のこと。
国連認証したもので「排出権」の種類では信用度が高いとされる。

プロジェクト概要

プロジェクト名称	7.5MW wind farm of REI Agro Ltd. At Soda village in the state of Rajasthan, India.
プロジェクト分野	再生可能エネルギー活用(内容:風力発電)
プロジェクト目的	持続可能な自然エネルギーである風力資源を用いて発電を行い、インド北部地域の電力の一部を当該電力で賄うことにより、気候変動の緩和に貢献する。
プロジェクト内容	インド北西部にあるラジャスタン州ジャイサルメール地区のソダ村に7.5MW規模の風力発電システムを建設。当該設備で発電した電力をグリッド接続し、インド北部の電力需要の一部を賄う。

プロジェクト実施場所

実施ホスト国	インド
実施場所	ラジャスタン州
実施サイト事業者	REI Agro Limited
実施場所・事業者情報	事業者であるREI Agroはバスマティ米(インド産の米)産業の強化の為1994年に設立されたインドの大手食品企業。プロジェクト実施場所はインド北西部のラジャスタン州の砂漠にあり、近郊の町から40km離れた場所に位置しており近隣住民への影響が少ない。



インド : ラジャスタン州
ジャイサルメール地区

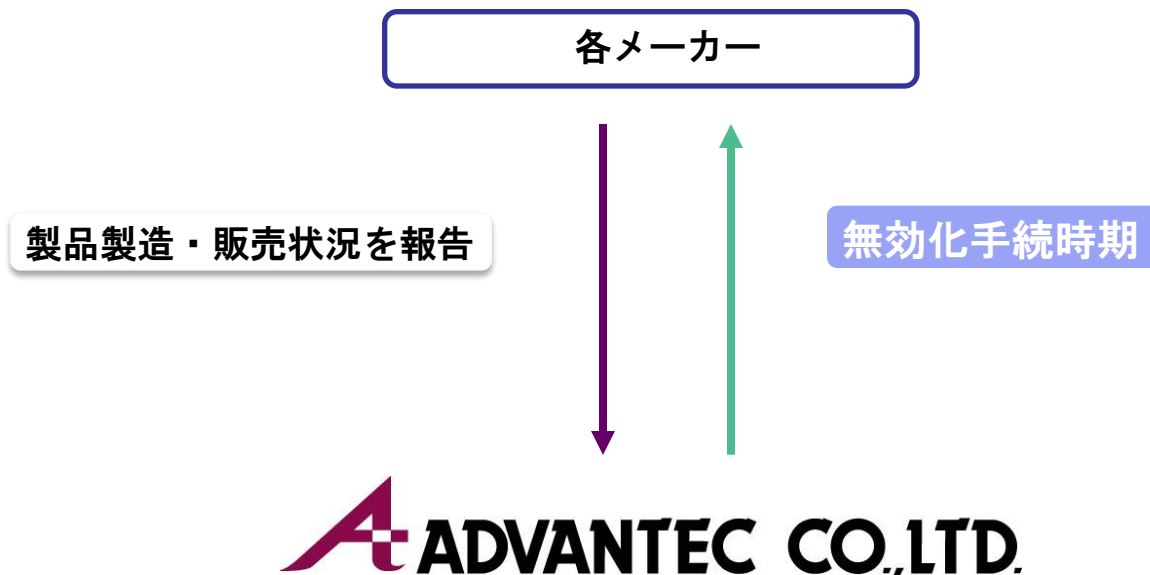
無効化の手続・時期

無効化手続方法

日本国政府の国別登録簿の償却口座へ移転

無効化手続時期

各社、商品出荷前までに随時当該クレジット量の無効化を実施。



認証ラベルの取得

認証取得商品

当該事業の認証取得商品は下記になります。



カネフク製菓
すてませんべい（米菓）
割れせんべいを無駄なく使用
米粉工程を内製化しトレサビを確保



尾崎食品
酢ツキ青蜜柑（飲料）
愛媛県産青蜜柑を使用
地産多消への取り組みを実施



大阪前田製菓
大玉ボーロ（焼菓子）
こわれ等を無駄なく使用
無添加・無着色で健康訴求

情報提供①

売場での情報提供 店頭POPの一例は下記になります。

トップボード(30×90cm)

はじめよう!
CO₂削減生活

感じよう! 考えよう! 温暖化! そして低CO₂!

——カーボンオフセットは低炭素社会の選択肢——

CO₂の増加により地球が温暖化していると言われています。ひとりひとりの取り組みで低CO₂社会を実現したいですね!

日常生活でのCO₂排出量

排出量を減らす

減らせない部分

カーボンオフセット商品の購入

CO₂削減ができる事業で『減らせない部分』の一部または全部を減らす

詳しくは右記ホームページをごらん下さい。 <http://0000000.000000.jp>

B 6 1/2帯POP

CO₂認証マーク

はじめよう! CO₂削減生活

取り組みの信頼性を高めるために第三者認証を取得しました(認証番号0000000000)。
環境省基準によるカーボンオフセット認証ラベル
(気候変動対策認証センター)

<http://www.4cj.org>

CO₂ 認証
CARBON OFFSET

情報提供②

売場でのイメージ 店頭での陳列例

特売展開例

トップボード

- * オフセットを啓発
- * オフセットの説明

B&B 1/2系POP



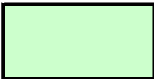
〇〇登録マーク取得商品がある場合、商品の正面に〇〇登録マークの説明POP

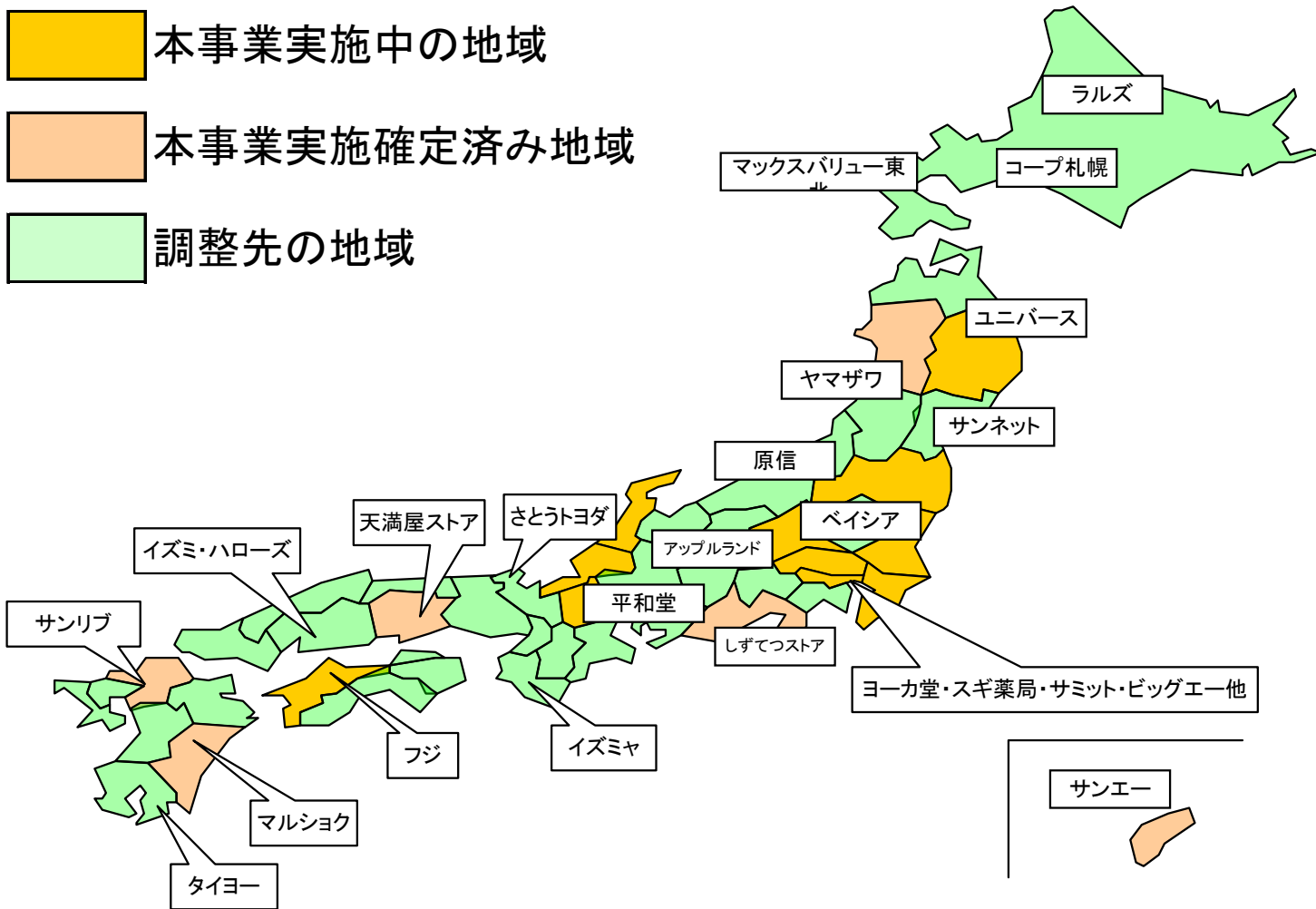
ポイント!

単なる価格一辺倒ではなくお客様の『エコ』を訴求しては……?

当該事業で実施した主な啓発・啓蒙先の小売業

普及事業調整・販売先企業

-  本事業実施中の地域
-  本事業実施確定済み地域
-  調整先の地域



展開例

売場でのイメージ 店頭での陳列例



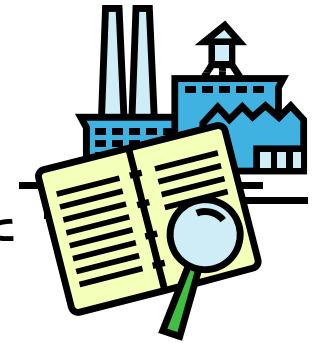
事業総括

・カーボンオフセットの認知度向上

- まずは流通小売業さまの担当者への説明に力点を置いた
- ⇒一般の御客様には、まだまだ道のりは遠い

・カーボンオフセットマークの乱立

- 環境省基準の認証マークの存在を知ってもらうきっかけになった
- ⇒一般のお客様には、まだまだ道のりは遠い



・認証マークの使い勝手の検証と課題提起

- イニシャルコストが適正か
- ⇒単価の安い商品や中小・小規模企業にはまだまだハードルが高い

- ランニングコストが適正か
- ⇒食品を中心とした何銭という慣行が残る業種においてはハードルが高い

- 認証申請書記載や取得までのやり取りが妥当か
- ⇒認証1件あたり何回もメール等のやりとりが必要。
- 申請書の記載内容等でもう少し労力が軽減されないか

・取組の信頼性の確保

- ⇒環境省基準ということで信頼性は確保できると判断した

オフセット商品一覧

【販売中】

大阪前田製菓（大玉ボーロ・マヨネイズあられ）

カネフク製菓（すてません餅）

富士屋（おかきの山・カレーが嫌いなカレーくん）

尾崎食品（酢つき青みかん）

湖池屋（ポテトチップス60gのりしお・うすしお・コンソメ）

米持製菓（やわらか黒糖かりんとう）

三幸食品（柿ピー・バタピー・味付けピー）

フクイ（星のメッセージチョコレート）

カネタツワン（おかずのりなど

【リニューアル中】

三河屋製菓（えびみりん焼き）

東海氷糖（MIXキャンディー）

【終売商品】

コリス（おかしの本）・パイン（あわだま・どんぐりガム）